

# 知立駅付近連続立体交差事業 事業計画の見直しについて

令和7年11月14日 提出  
全員協議会 資料  
都市整備部 都市開発課

## ○見直し概要

見直しに関する内容は、以下のとおりです。

**【事業期間】 2028(令和10)年度完了**

►► **2031(令和13)年度完了**

### <主な要因>

- ・鉄道の運行の安全性に配慮したことにより、想定以上の期間を要したため。
- ・国の働き方改革により、現場での稼働時間が短くなったため。

**【事業費】 約792億円(市負担額約125億円)**

►► **約995億円(市負担額約149億円)**

### <主な要因>

- ・労務単価や資材単価等の上昇
- ・想定が困難な要因による変更
- ・安全対策、環境対策の追加・変更

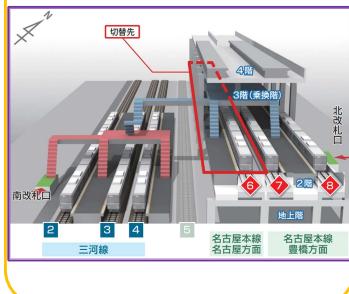
	<変更前>	<変更後>
国	約361億円	►► 約454億円(+93億円)
県	約178億円	►► 約232億円(+54億円)
市	約125億円	►► 約149億円(+24億円)
名鉄	約128億円	►► 約160億円(+32億円)
計	約792億円	►► 約995億円(+203億円)

## ○事業効果の発現

高架切替時期については、以下を目標に進めます。

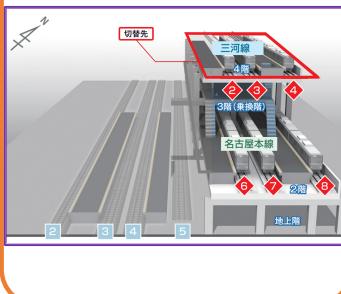
**2026年度  
(令和8年度)**

名古屋本線  
(名古屋方面行き)  
高架切替



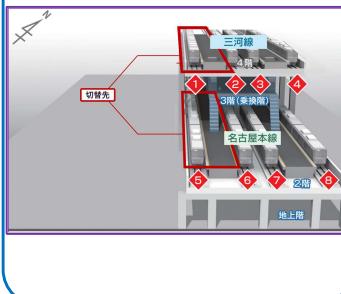
**2027年度  
(令和9年度)**

三河線  
(豊田・碧南方面共)  
高架切替



**2030年度  
(令和12年度)**

全線高架切替  
(知立駅部の完成)



事業完了

**2031年度  
(令和13年度)**

側道等供用開始

